

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回茨木市社会教育委員の会議
開催日時	令和6年2月22日（木） 午後6時～午後7時
開催場所	上中条青少年センター 3階会議室
議 長	三川 俊樹
出席者	稲田 勲 今西 幸蔵 藤田 真由美 桑本 由利子 森脇 護 藤本 裕充 小河 尚司 三川 俊樹（計8人）
欠席者	古川 美奈子
事務局職員	岡田 祐一 教育長 小田 佐衣子 教育総務部長 中井 誠 市民文化部長 吉田 典子 教育総務部次長兼中央図書館長 木下 典子 教育総務部歴史文化財課長 新谷 忍 生涯学習センター所長 小西 勝二 市民文化部スポーツ推進課長 吉崎 幸司 教育総務部社会教育振興課長 村上 智子 教育総務部社会教育振興課参事兼公民館係長 伊藤 祐介 教育総務部社会教育振興課課長代理兼社会教育係長 他職員（計12人）
議題（案件）	(1) 今年度の社会教育委員の活動について (2) 令和6年度社会教育の努力目標について
配付資料	会議資料

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>令和5年度第2回茨木市社会教育委員の会議を開会する。</p> <p><b>【会議の成立】</b>            本日は、7人の委員にご出席いただいております。茨木市社会教育委員条例第6条第3項の規定により本会議は成立。            古川委員からは欠席のご連絡を、今西委員からは遅参のご連絡を、それぞれいただいておりますので、報告する。</p> <p>本日の会議は、会議時間短縮を図るため、事前に資料をお送りし、意見も頂戴している。簡潔に議事を進めていきたいので、協力を願いたい。</p> <p><b>【会議の公開】</b>            本会議は、「公開」とし、傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任願う。</p> <p>本日の議案に入る。            まず、「今年度の社会教育委員の活動について」、事務局から報告願う。</p>
社会教育振興課長	<p>今年度の社会教育委員の活動について、今年度の社会教育委員を対象にした研修会の概要を報告する。</p> <p>まず、9月8日に、滋賀県で近畿地区社会教育研究大会が開催され、稲田委員、藤田委員、桑本委員、森脇委員、三川委員に参加いただいた。</p> <p>次に、11月10日に、大阪府社会教育振興協議会北ブロック研修会が開催され、稲田委員、藤田委員、森脇委員に参加いただいた。</p> <p>最後に、2月15日に、大阪府社会教育研究会議が開催され、小河委員にご参加いただいた。報告は以上である。</p>
議長	<p>各研修に参加された各委員からの報告を願う。</p>
稲田委員	<p>9月8日（金）の開催の近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）及</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
森脇委員	<p>び11月10日の大阪府の社会教育振興協議会北ブロック研修会(高槻市立しろあと歴史館)に参加した。今年度は2回参加させていただき、非常に意義のある大会、研修会だったと思っている。</p> <p>近畿地区社会教育研究大会については、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催され、午前中は全大会、午後からは分科会が開催された。私は第5分科会に参加した。奈良県から「愛着と誇りの地域(自治会)へ～子どもたちの言動が地域(自治会)を変えた!」というテーマで、奈良県生駒市さつき台地域の自治会における取り組み事例が報告された。</p> <p>荒れていることで有名だった公園を、こどもたちの声を聞くことをきっかけに、地域内での活動が活性化していき、その公園の清掃活動が広がったとのこと。現在では、こどもたちも地域の一員だということ、自治会の役員の方も認識し、一緒に活動するようになり、今も公園にはごみ一つ落ちていないとのことである。</p> <p>地域の皆さんに、こどもたちの夢を育てていく地域づくりを認識していただきたいと考え、自分の住んでいる地域でもこどもたちと一緒に参加してもらえる清掃を実施している。今後もこどもたちの声を拾っていくような取り組みを進めたい。</p> <p>近畿地区社会教育研究大会に参加した。まず、記念講演では、現代社会での人と人の繋がりについてのお話があった。人間同士の関係性の病理が広がっているということで、人と人との関係性がなくなってきたということであった。こどもの虐待、老人の虐待、兄弟間の暴力など、様々な問題が現代社会にはあると思うが、それが広がっているのではないかと私自身も感じている。また、地域内で、住民同士の関係性を強化するというのが非常に重要であるというお話もあった。私が住んでいる校区でも地域協議会が立ち上がっており、地域のいろんな関係の方がその中に入って活動されている。地域ぐるみでの行事など、非常によい取り組みもできていると考えている。</p> <p>また、分科会は第4分科会(家庭教育支援)に参加した。行政や他団体との繋がり、連携、支援の形づくりの重要性を考え、支援の質やコミュニケーション能力を高める上で、個々の支援者が日頃から心がけ、こどもの健やかな成長を促す保護者と共有すべきことは何かというのがポイントだった。行政と地域の活動団体の結びつきという点で、地域との効果的な連携、協議が非常に必要だと感じた。</p>
桑本委員	<p>全体会については各委員の報告のとおりであるので割愛する。私</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
藤田委員	<p>は、第1分科会（学校・家庭・地域の協働）に参加した。分科会の講師の方が、自身の大学の学生が地域での講座等を開催できるように橋渡しをされているとのことで、地域と学生を繋げている活動が大変印象的であった。</p> <p>学校の中で学生が学ぶ機会は多くても、それを地域に還元する機会というのは、社会に出るまで少ないのかなと思うが、最近、茨木市PTA協議会が開催したPTA大会でも、講師にお呼びした大学教授のゼミの学生にパネルディスカッション等で多大なサポートをしていただいた。そのあと少しお話を伺ったが、学校現場にも学生がネットリテラシー等の授業等に行かれているということであった。そうした活動は、学生にとっても勉強になるし、それを学ばなければならない私たちにも勉強になると思うので、素晴らしい活動だと思う。</p> <p>近畿地区社会教育研究大会について、第1部の記念講演での印象的な部分を述べる。令和4年度の奈良大会において、文教大学の金藤ふゆ子教授が、社会教育の基盤とは「人づくり・つながりづくり・地域づくりをしていくとそれが好循環をもたらすということが目指す方向である」と述べられていたが、それはまさに今回の第1部の記念講演のテーマと合致するものであったので、これが社会教育の目指すべき方向であると改めて認識した。</p> <p>つながりづくりという中で、行き詰ったときに「まぜて ちらして つなぐ」という考え方で地域を再構築していくということは素晴らしいと思った。また、「ここで ともに ぶじに生きる」というのは、地域の活性化や地域での幸福度につながっていくという考え方・取り組みであると感じた。</p> <p>第2部では、第1分科会で長岡京市の実例報告をお聞きした。これは他の委員の報告のとおり、大学の学生、先生方が地域で講座を開催されているということだったが、私は、高齢者の方たちがやはり勉強する場所を求めておられると思う。本市には大学が多いという状況を見れば、大学の専門性を生かした講座の開催なども、本市においても十分開催できる内容ではないかと思った。</p> <p>次に、大阪府社会教育振興協議会北ブロック研修会は、高槻市で開催された。タイトルは「城主でたどる高槻城の歴史」で、高槻の地勢的な特徴、入江氏からはじまる城主の流れは大変興味深かった。これをどのように講座なり、社会教育なりに展開していくかということで、地域の方との協働も踏まえ、アイデアを出しあえる話し合い等があれば、本市でも応用できるのではと思った。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
小河委員	<p>社会教育研究会議は、社会教育における人材育成というテーマで開催された。内容的には主に社会教育主事、社会教育士についての話が大半であった。人材育成の話は少なかったという印象である。</p> <p>防犯とか防災とか色々な活動をしていることが社会教育の一環であるということで、自分も社会教育という観点を持って活動しているが、それが社会教育に付随するののかということで、もう少し勉強が必要であると感じた。</p> <p>また、社会教育は義務教育ではないが、生涯学習の一環ということで、さらなる活動が必要であるということ、人口減少や高齢化によって人材がなかなか集まらないという課題がある中で、社会教育主事や社会教育士をもっと利用して社会教育の活動の場を充実していったらどうかということであった。</p> <p>その後のグループ協議では、グループ内での市町の規模の違いが大きく、それぞれの状況等も全く違っていたため、テーマであった社会教育人材の話については、うまくまとまらなかったというのが現状であった。</p>
議長	<p>お忙しいところ各委員にはそれぞれ研修会にご参加いただき、感謝申し上げます。</p> <p>次に、「令和6年度社会教育の努力目標について」を議題とする。本件については、事前に案文を送付のうえ、各委員からの意見聴取を行った。</p> <p>各委員からの質問・意見と、それらに対する所管課からの回答を取りまとめた資料を、お手元に配付している。概要について事務局から説明を受けたのち、各委員から、関連する内容について、それぞれの立場からご意見等があればお願いしたい。</p>
社会教育振興課長	<p>令和6年度社会教育の努力目標について、主な変更点を申し上げます。「令和6年度社会教育について」をご覧ください。赤字が令和5年度からの変更点である。</p> <p>主な変更内容としては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、コロナ禍関連について削除または表現を修正した。文化施策について、茨木市文化振興ビジョン（第2期）において、「未来につながる文化のまち いばらき」を実現したい将来像として掲げた取り組みを推進していくこと、スポーツ施策については、こどもた</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ちへのスポーツへの関心を高めるため、キッズスポーツフェスタ事業の拡充に取り組むことを追加している。</p> <p>人権教育・家庭教育では、来年度の事業内容に合わせて修正している。</p> <p>文化財の保存と活用については、文化財資料館40周年を記念した事業に取り組むことを追記している。</p> <p>図書館は、おにクルぶっくぱーくで複合施設の特性を活かし、新たな図書館サービスを展開することを追記している。</p> <p>この段階で、各委員には、案を送付し意見をいただいている。いただいた質問・意見を一覧表にまとめ、あわせて所管課からの回答・対応を記載している。</p> <p>いただいた意見を踏まえた修正箇所を説明する。各委員からの質問・意見等についての一覧をご覧願う。</p> <p>1ページの回答・対応の1段目、本文1頁、図書館部分に以下の文章を追記する。「多様な図書館サービスの充実を図り、新たに開館したおにクルぶっくぱーくでは、複合施設の特性を活かしたサービスを展開する」。また、本文1頁5行目の「特徴」を「特質」に修正する。</p> <p>次に、回答・対応の2段目、「1 人権教育の推進について」の項目1を「企画段階において、高齢者の人権、インターネットによる人権侵害、性的マイノリティに係る人権、災害時の人権など、多様な人権尊重の視点を取り入れた内容や講師の選定などに取り組み」に修正する。</p> <p>次に、回答・対応の4段目、「6 図書館活動の推進について」の項目4に以下の文章を挿入する。「発達段階に応じた読書環境を提供する。特に学校とは、計画に基づき作成した「学校と公共図書館ねっとうわーくプラン」により、互いに協力した取り組みを推進する。また、継続して取り組む必要があるため、次期計画を策定する」。</p> <p>続いて、一覧の3頁をご覧願う。質問・意見等の三段目、本文の1頁2行目の「コロナ禍において示された」の部分と3行目の「途切れつつある」の部分削除する。また、「4 青少年教育の推進について」の中で、「市内大学」、「近隣の大学」との記載を「市内及び近隣の大学」に統一して修正する。</p> <p>続いて、回答・対応の4段目「3 家庭教育の支援について」の項目1を家庭教育の重要性を認識し、こどもを育成するために必要な知識を身に付け、保護者としての資質向上を図るため、関係諸団体との連携やICT、また文化・子育て複合施設「おにクル」の活用等により、家庭教育に関する学習機会や情報の提供に努める」に修正する。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>最後に、一覧の4頁をご覧願う。「6 図書館活動の推進について」の項目3に「複合施設の特性を活かし、施設内の他機能が開催する事業に関連した特集コーナーの設置や、その事業に合わせた図書館事業の実施、健診時に合わせたおはなし会の開催等、新たな図書館サービスを展開する」を挿入する。</p> <p>努力目標の修正等については以上である。他にも、努力目標、その他社会教育関連事業に関する意見をいただいている。回答・対応欄の記載のとおりであるが、いただいた意見等を踏まえ、関係課と連携して取り組んでいく。</p>
議長	<p>ただいまの説明について、各委員から、意見等があれば発言を願う。</p>
桑本委員	<p>小学校で、こどもたちに絵本の読み聞かせをする活動をしているが、読み聞かせの本は図書館からお借りしている。読み聞かせでは、こどもたちに表表紙も裏表紙も最後に見せる形でしているが、貸出絵本の中には裏に袋のようなものが貼ってあったりする本がある。こどもが絵本を見ながら想像をふくらませながら本に触れてもらいたいという目的で活動しているので、できればきれいにしていただけるとありがたいと思う。</p>
中央図書館長	<p>最近購入している本には、そうしたものは一切つけていないが、過去に購入した本では、ついたものが残っているのだと思う。読み聞かせで使われるということなので、貸し出しの際にはこちらのほうでも取る等の処置をしたいと思う。また、気づかないで貸し出してしまうようなこともあるかと思うので、気づかれた時には遠慮なく申し出ていただければと思う。</p>
議長	<p>他に発言なさる方はおられるか。</p>
今西委員	<p>全体を拝見し、指摘について適切に対応いただいております、ありがたいと思う。社会教育研究会議の報告があったが、主に社会教育士という新しい資格についての話だったということである。その中で大事なことは、社会教育の指導者に民間の力が入ってきたということ。これまでの日本の社会では、社会教育は公的社会教育として推移してきた。それは行政の責任という大きな問題もあるが、これからは行政だけでなく民も官もみんなが力を合わせてやっていく時代がやってきている。その象徴的な意味で、社会教育主事に代わる新しい国家資格</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>として、社会教育士が出てきたということである。</p> <p>それから「つながり」という言葉に関しても報告があった。これには大きな意味がある。私たちの知っているつながり、かつては「仲間づくり」という意味であったが、現在における意味はもっと深く、社会全体が縦型社会から横型社会に変わるということである。その意味で社会教育には、横型社会の人間関係を構築していくという、ある種のダイナミズムがあるということだ。</p> <p>それと、やはり大事なことは、人権教育という言葉だけの問題ではなく、全体として社会教育に求められていることは、多様性の追及ということだと思う。今日のご報告を聞いて、こうした社会教育の新しい方向性を各委員が学んでいかれているように思う。私も研究者であり学習者でもあるから、一緒に学んでいきたいと考えている。</p> <p>他に発言なさる方はおられるか。</p> <p style="text-align: center;">(発言する者なし)</p>
議長	<p>以上で議案に対する意見交換を終了する。</p> <p>事務局から補足事項等はあるか。</p>
社会教育振興 課長	<p>資料について補足をさせていただく。去年までは、昨年度からの変更部分を赤字で修正して、さらに各委員からのご意見を青字で修正したものをお配りしていたが、今年は、昨年度からの変更部分を赤字で修正し、そのあとご意見いただいた部分については、お手元の案には反映せず、会議終了後、別資料の一覧の修正内容と会議でいただいたご意見を合わせて修正させていただいたものを、各委員にご配付する予定としている。</p>
議長	<p>以上で議案に対する意見交換を終了する。</p>
議長	<p>それでは、事務局から説明のあった修正を反映させ、各委員からいただいた意見を踏まえたうえで、「令和6年度社会教育の努力目標」を定めさせていただきたいと思う。また、修正等については議長一任とさせていただくことでよいか。</p>
各委員	<p style="text-align: center;">(異議なし)</p>



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	異議なしと認め、そのように決定する。 「令和6年度社会教育の努力目標について」は、年度当初に各委員に送付させていただく。
議長	以上で、本日予定した案件は、全て終了した。 これをもって、令和5年度第2回茨木市社会教育委員の会議を閉会する。